

◇現状～安定的に成長、日本・関西と深いつながり

アセアン経済の概観

- ◇ アセアン経済は、通貨危機で一時的に停滞したものの、その後は世界全体を上回るペースの成長を継続、世界経済に占める割合も上昇
- ◇ これまで、「人口ボーナス」が各国の成長を押し上げる方向に働いてきたが、押し上げ効果は徐々に弱まっていく見込み、一部の国は「人口オーナス」に移りつつある局面
- ◇ 先進国の直接投資も、アセアンの経済成長に貢献

アセアンと日本・関西のつながり

- ① 政策面：「福田ドクトリン」、「チェンマイ・イニシアティブ」、「二国間経済連携協定」、「日・アセアン包括的経済連携」、「対アセアン外交5原則」等、深化の動き
- ② “もの”：貿易相手としてのプレゼンスが上昇
- ③ “かね”：進出企業数は2000年度から2012年度にかけて7割以上増加
- ④ “ひと”：留学生の受け入れや新卒就職市場での存在感は限定的、近年、インバウンド観光は拡大
⇒政策的なつながりを土台に、“もの”、“かね”、“ひと”のつながりもあり、アセアン諸国の対日感情は良好
⇒ただし、“ひと”のつながりは発展の余地が大きい

◇課題～ヒアリング調査も踏まえ、抽出

- ① インフラ整備：交通やエネルギーなどのインフラ整備の遅れが、依然、成長を抑制
- ② 人的資本強化：独自の技術開発を担うことのできるような人材の育成は、依然として不十分の模様
- ③ 社会の安定度向上：法制度の整備の遅れや国内の経済格差等により、社会的な安定性の低さは、海外からの直接投資受け入れにおいて不利に

◇アセアンの持続的な成長に向けた日本の役割

- ① インフラ整備のポイント
 - 創・蓄・省エネルギー技術を活かしたハードウェアの設計・製造技術の活用
 - システムの正確かつ安全な運営・運行に関する産官の高度なノウハウの活用
 - 政府開発援助や官民の金融機関による支援
- ② 人的資本強化支援のポイント
 - 技術支援について戦略的対応によりwin-win関係を構築(デジュールスタンダード化、知的財産保護)
 - 英語による入学試験・授業、希望者に対する日本語習得プログラム等による留学生の受け入れ促進

◇アセアンの持続的な成長に向けた関西の役割

関西の役割(提言の枠組み)

“ひと”に焦点をあてたアセアンの成長への貢献をけん引
=“ひと”を呼び込み、教育や技能・技術習得の形でアセアンの人的資本の強化を支援

提言① 留学生受け入れ促進のための情報発信力の強化

- ◇ 政府の推進する「クールジャパン」の留学生受け入れ促進への活用
- ◇ 大学と企業の連携による具体的な情報の発信
- ◇ 政府や大学による元留日学生を通じた情報発信
- ◇ インバウンド観光を活用した情報発信

提言② 留学生の就職活動支援体制の強化

- ◇ 大学による就職活動に関する情報提供の強化
- ◇ 企業によるインターンシップの受け入れ拡大
- ◇ マッチング機能の強化(外国人雇用サービスセンターの活用)

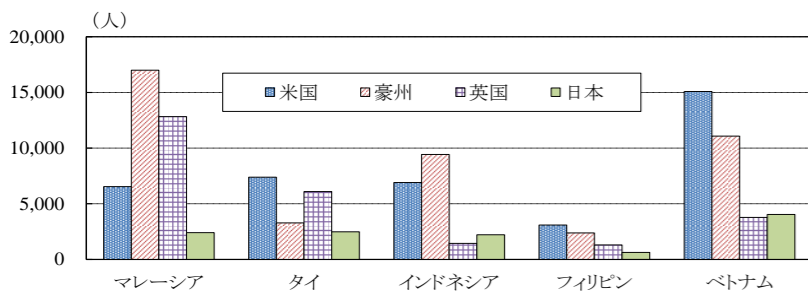
提言③ グローバルな人材活用・育成に向けた制度や規制の緩和

- ◇ 在留資格制度の簡素化・緩和
- ◇ 高度人材ポイント制度の運用弾力化
- ◇ 企業によるグローバルな人材育成の推進、キャリアパスの多様化
- ◇ 「企業内転勤」の在留資格の要件緩和、長期的には、技能・技術人材も視野に
- ◇ 外国人技能実習制度の運用弾力化、適正な実施を前提とした手続き面の簡素化

提言④ 「関西ならではの」強みの活用

- ◇ アセアンからのアクセスの良さ、首都圏に比べて相対的に安価な生活コスト、面倒見のよい土地柄をアピール
- ◇ 元留日学生やインバウンド観光客、来訪する高度外国人材によるロコミを戦略的に活用
- ◇ 「ライフサイエンス」や「新エネルギー」分野の研究蓄積をアピール
- ◇ ナレッジキャピタルの活用
- ◇ 「特区」の枠組みを高度外国人材の採用に活用

アセアン各国の米豪英及び日本への留学者数



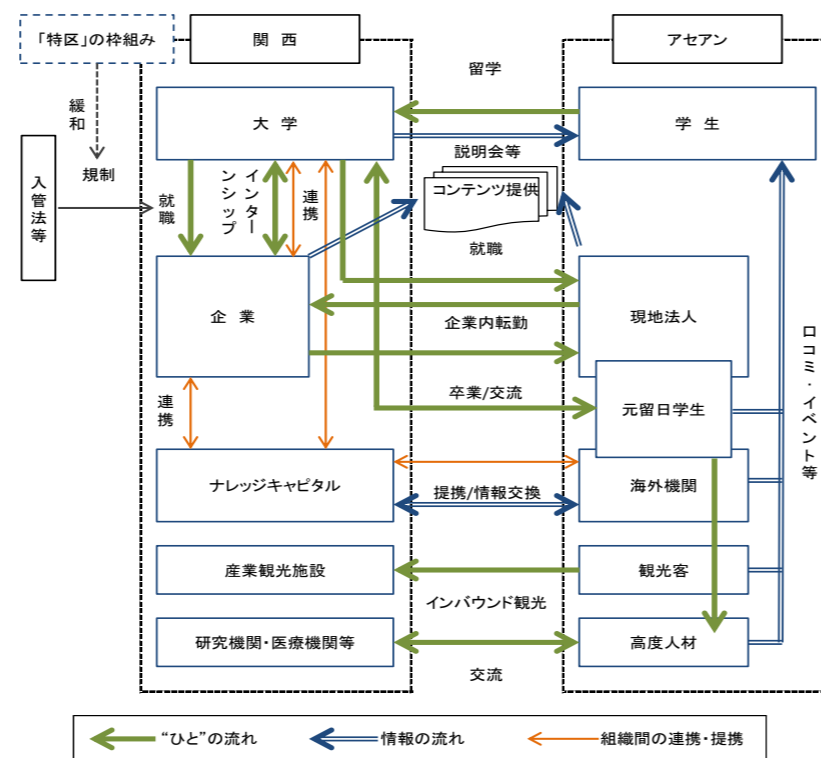
(注)2012年時点。
(資料)Unesco「Education Statistics」

アジア各国の人的資本に対する評価

総合順位	国名	総合順位の構成要素			
		教育水準	健康状態	労働力・雇用	能力を引き出す環境
3	シンガポール	3	13	2	5
22	マレーシア	34	39	18	22
23	韓国	17	27	23	30
43	中国	58	65	26	47
44	タイ	79	40	27	48
53	インドネシア	61	84	32	58
66	フィリピン	65	96	38	78
70	ベトナム	73	88	57	73

(資料)World Economic Forum「The Human Capital Report」

関西を起点とした“ひと”の循環(イメージ)



関西を“ひと”の循環の起点とし、双方向の人材交流を推進することで、アセアンとの共存共栄関係を再構築する